

新潟高教組

高校入試「県教委交渉」速報

2021年2月9日 全組合員配布・分会掲示

2月2日要求書提出に関する主な回答

- ・ 無症状濃厚接触者別室対応は
20年10月30日文部科学省事務連絡が根拠
- ・ インフルエンザ罹患者別室受検はこれまで通り
- ・ 検温は健康チェックリスト（自己申告）で対応
（大学共通テストと同様）
- ・ ガイドラインに沿った感染防止策を講じていれば
感染リスクは低い
- ・ 体調不良がある場合は出勤を控えてもらいたい
基礎疾患を有し、不安がある場合は躊躇なく校長へ
検査業務従事者に不足が見込まれる場合は、当該校
長と県教委で協議

県教委からは、「入試においては可能な限り受検機会を設けることを求められている中で、この度は、検査実施者の側から、検温結果 37.5 度以上、チェックリスト A に 1 項目、B に 2 項目以上は『受検できない』とした。このことは、その他の受検生や監督等にあたる教職員の安全を図る最善の措置であることを理解してもらいたい」とのことだった。しかし、高校入試に関わる業務負担増加に加えて、労安上の観点からの課題も加わったことから、引き続き現場からの声に基づき折衝を強化するとともに、入試業務に従事する教職員の安全確保と負担軽減の具体策を継続して求めていきます。

詳細については2月各支部執行委員会で報告します

（高教組 HP（組合員のページ）に「交渉」結果を掲載）

本部は引き続き現場からの疑問点等を県教委に質します！